

片瀬のぞみだより

日本基督教団片瀬教会付属

片瀬のぞみ幼稚園

2025年7月号

家庭通信 2025 No.10

「がんばれ、さようなら、ありがとう」

6月の初めの頃、おうちで子どもたちから「ちょうちょう」のお話が出ませんでしたか？ご存知の方も多いかもかもしれませんが、片瀬のぞみ幼稚園らしい素敵な機会を過ごしたので書かせていただきます。5月の最終週だったと思います、私の家のレモンの木にちょうちょうの幼虫が10匹近く留まっていた。その姿からアゲハチョウの幼虫だということはわかっていました。そして、アゲハチョウの幼虫は柑橘系の葉っぱを食べる→幼稚園にも柑橘系の木が→幼虫さんの幼稚園行きが決定しました。朝、先生たちとご対面、数匹ずつ分けて各クラスの飼育が始まりました。毎日、新鮮な葉っぱを切り取ってエサにしたり、うんちを虫かごからとってお掃除したり、愛情たっぷり受けた幼虫さんは順々にサナギとなりました。そして、最初に羽化したのはすずめ組のちょうちょうでした。すずめ組の子どもたちが飼育箱に留まっていたサナギが蝶になって箱の中でバタバタさせているのを発見、すぐに子どもたちが全員集合しました。羽化したちょうちょうを見て、感激の先生と子どもたち。しかし、飼育箱でバタバタと羽を動かすちょうちょうを見ていると子どもから「なんかせまそう。」、「にがす？」と声が。場所を青い廊下に移し、ちょうちょう巣立ち編とシーンは変わります。

いよいよ巣立ちの時です、飼育箱をそお一つと開けて、さあ、外の世界へ・・・、・・・あれ、なかなか巣立ちとうとしません。「まだ、ここにいたいのかな、とびたくないのかな。」と子どもの声、そして、どこからか「がんばれー。」と声が聞かれるとそこからは「がーんばれ！がーんばれ！！がーんばれ！！」の大応援です。そして、応援を力にちょうちょうが飛び立ちました。「ばいばーい、さようならー」とみんなでお別れを告げると、それに応えるかのようにちょうちょうがみんなの周りを飛び回るので、まるで「ありがとう」と言っているかのように。そして、先生っぽく「みんなにありがとうっていつてみたいだね。」なんて素敵な言葉を投げかけようとしたその時！！子どもたちから「あ・り・が・と・う。」の音が聞かれたのです。巣立ちゆくちょうちょうに向かって「ありがとう。」と心から発せられるこの子たち素敵すぎませんか？子どもたちと本当に素敵な時間を過ごしました。あとの9匹それぞれにドラマが、そのたびに「がんばれ さよなら、ありがとう」と、送り出しました。一匹のちょうちょうをみんなで送り出せる幼稚園であることがとてもうれしく思いました。そして、今では、幼稚園に来るキアゲハに「あ、かえってきたー。おかえりー。」と言ってあげる先生と子どもたちです。

おまけ：飛んでいったほとんどのちょうちょうが、まず初めにオニ柚子の木に向かっていくのです。

まるで、自分たちが食べて育った葉っぱがここにあったことを確かめるがごとく。

園長 横山流